

## 受賞契機に事業の拡大・発展目指す 優秀賞に輝いたクラブツーリズムの取り組み

「ツーリズムEXPOジャパン」とのシナジー効果によって、国内・海外の団体・組織・企業による優れた取り組みを表彰し、ツーリズム業界の発展・拡大に寄与することを旨とする「ジャパン・ツーリズム・アワード」。昨年の各賞受賞者を対象に実施したアンケートでは、受賞により「内部および関係者のモチベーションが上がった」という声が大きかったほか、評価された取り組みを広く市場や業界に知ってもらうことで、事業の拡大や発展を目指しているケースもありました。

### ユニバーサルツーリズムが人材育成に

視覚障がい者の自動車運転体験ツアーで国内・訪日領域ツーリズム部門の優秀賞を受賞したクラブツーリズムの湖山知弘ユニバーサルデザイン旅行センター課長は、「今回の受賞により社内グループ内でユニバーサルツーリズムへの取り組みが再認識された」と強調。グループ会社



昨年度の「ジャパン・ツーリズム・アワード」国内・訪日旅行部門で優秀賞を受賞したクラブツーリズムの小山佳延社長（中央）と発案者の望月さん（中央右）

の近畿日本ツーリストでは、2015年から全国の社員を対象にしたバリアフリー旅行研修を実施しており、このツアーでも多くの社員が集合から解散までの2日間、参加者の手を引くサポートを行っています。この研修を通じて、障がい者に対する理解が深まると同時に、改めて旅行の可能性を感じている社員も多いといえます。

### ホンダの協力で、夢をカタチに

2016年度の第2回「ジャパン・ツーリズム・アワード」の国内・訪日領域ツーリズム部門で優秀賞を受賞したクラブツーリズムによる「世界初！視覚障がい者の自動車運転体験ツアーの実現」は、2005年に全員のツアー参加者の望月さんが語った「度でいいから車の運転をしてみたい」という言葉に込めて、商品の開発に着手。車がぶつかる障害物が少ない広い場所と、最終危険回避の手段として助手席にブレーキがある教習車のような車、協力してもらええる施設を探した結果、「夢をカタチに」を掲げるホンダのツインリンクもてぎとの協業が実現。車のハンドルを時計に例え（クロックポジション）、左手の9時を基準に「10時、11時、12時」と右カーブを曲がるといった工夫を重ねて、世界で初めて視覚障がい者が本物の車を運転する体験のプログラム化を実現したものです。

### 満足ではなく「大変満足」目指して

優秀賞の選考に際しては、「視覚障がい者の『自動車を運転してみたい』という夢を叶えた取り組み。ユニバーサルツー



3月15～16日に実施された自動車運転体験ツアーの参加者と研修で参加した近畿日本ツーリスト社員、ホンダのインストラクターら

リズムの発展に大きな一歩を記し、さらなる拡大が期待される」と、高く評価されました。

湖山課長は毎回、ツアーの参加者に「夢を見ることは楽しい。実現するのはもっと楽しい」という本田宗一郎氏の言葉を紹介。車に乗るホンダ側のインストラクターも「夢の体験をサポートできる喜びと責任を感じています」と語り、「私たちが目指す（お客様の）満足度は、満足ではなく、大変満足です」と説明しています。

### 5月31日まで応募を受け付け 2017年度第3回「ジャパン・ツーリズム・アワード」

ジャパン・ツーリズム・アワードは、「国内・訪日」「海外」の2つの領域およびUNWTO部門賞について、募集を行っています。

応募の詳細については、ホームページ（<http://www.t-expo.jp/biz/jta/index.html>）をご覧ください。

## 公式サイトが3月31日にオープン 「ツーリズムEXPOジャパン2017」

今年9月21日から24日までの4日間にわたり、東京・有明の東京ビッグサイトで開催される「ツーリズムEXPOジャパン2017」の公式サイトが3月31日、オープンしました。公式サイトは、<http://www.t-expo.jp/> です。

イベントの概要やスケジュール、出展のご案内をはじめ、関連情報や最新ニュースなども発信していますので、是非、ご覧いただき、ご活用ください。

